

翔

第18号 (平成14年10月1日)

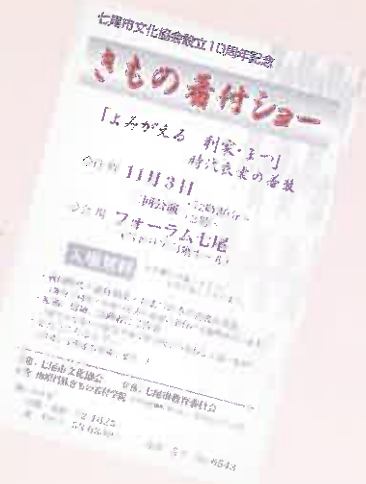


山原昌娃きもの着付学院

第10回七尾市民文化祭
七尾市文化協会設立10周年記念

きもの着付ショー

「よみがえる利家・まつ」
時代衣裳の着装



平成十三年十一月三日(土・祝)、フォーラム四階ホールにて十二時三十分から十四時からの一回開催されました。
見事によみがえった利家とおまつの方の華麗な姿を前にして、七尾市教育委員会 文化課 学芸員の北林雅康様が説明をして下さいました。
七五三の可愛い子ども達の部、振り袖・留袖・訪問着の帯を前にて結ぶシヨに沢山のお客様から拍手をいただきました。

「お松の方」

七尾講師会 山道 峰子

私がお松のモデルを引き受け、初めて衣裳に袖を通したのは七月でした。引き継ぎ十一月に行われた、七尾市文化協会設立十周年記念の「きもの着付ショー」に参加させて頂き、先生方の心地良い着付け、又、歩く動作では、現代の服装では考えられない程「一歩」が難しくとても緊張しました。しかしながら隣には戦場に向かおうとしている利家様が立派



に出来上がり、私自身も一時ではありましたが、奥方になった気分でした。ふとしたぎっかけから思いがけず、貴重な体験をさせて頂き感謝しています。本当に有り難うございました。又、これからも着物を通して色んな事を学んでいきたいと思っています。



には素晴らしい体験だったのでしょう。お姉ちゃんに「高校生になったら着付けの先生になるお勉強をしようね」、「ハイ」という返事があり、私も感動を覚えたことを思い出しています。このように事業を通し、きもの着付文化の普及に努めることが大切であることを、改めて確認した一日でした。



「七五三の部に参加して」

森教室 森 千代子

おばあちゃんが孫と一緒に七五三のお宮参りという事で出演。私は紋の付いた訪問着に二重太鼓。子供達は二才の女の子と一年生のお姉ちゃんです。

始まる前は駄々をこねていたちびちゃんも、シヨがたけなわになり千歳飴をもらったり、お名前は「ハイ、〇〇です」と、大きな声で返事できたことなど、だんだん慣れてきてフィナーレで退場するころには、なんと！その後姿たるや思わず吹き出してしまいう。顔、肩、腰を左右に振り、帯が落ちそうなくらい。楽しそうに可愛く歩いているではありませんか。

晴着を着て舞台に立った彼女たち



「利家を着付けて」

七尾講師会 藤田 寿代

昨年十一月、時代衣裳の着装として「利家とまつ」の着付けを体験させて頂き、瀬口良子さんと共に、雄々しい利家を担当致しました。同じ時代衣裳として、以前勉強した十二単の幻想的な世界に相対し、戦国の乱世を駆け抜けた武将という時代背景もあり、今までに経験のない剛健なものでした。現在の衣裳は、自己表現の手段の一つであったり、抽象的な格式や形式を表す方法の一つであったりします。それに対し、利家にみる鎧や太刀は、自分自身を守る為の武器・武器であるがゆえ、それを着付ける人の想い、着せられる人の想い、それぞれの悲しみがどんなものであったか、遠い古から伝



わってくるような気が致しました。どれを取っても私達女性の腕にはどっしり重く、歴史の重さをも物語っている気が致しました。しかし剛健な中にも色使いの上品な美しさ、布使いの贅沢さ等工夫が施され、今もきもの文化にひっそりと息づいている、そんな気が致しました。

「訪問着の部に参加して」

吉田教室 小坂 幸代

袋帯の変わり結びを自分で前に結んで後ろへまわすということは、私が習い始めた頃は考えられないことでした。十一月三日の着付シヨにみなさんの前でその技を有る機会があたえられました。まだ慣れていたことがあったこともあり、人前ですることはとても緊張しました。終えてみて自信がついたような気がします。その後、結婚式やパーティーで訪問着を一人で着る機会があった時に何度かこの技をしました。これからもどんどん愛わり結びに挑戦していきたいです。着物の奥深さをあらためて感じることであった一日でした。

「留袖の部に参加して」

羽田教室 小倉 敬子

参加させて頂くのが決まったのは一週間前でした。自装での事で、半巾帯の要領で前へ結んでクルリと後ろへ廻せば良いのだらうと、迂闊にも引受けてしまったのでした。実際にやってみると前で結んでも手元が見えず、思うように出来ないでミスのないよう、「宝のしめ」と決めました。当日はピンとした緊張感の中、参加者の方々の意気込みが感じられ、そのあでやかさに感嘆するばかりです。日頃の自分を顧みて反省し、勉強の場を与えて頂いた、先生方に感謝しております。

「振袖の部に参加して」

七尾講師会 佐々木理恵

ステージ上で、利家が凛々しく、まつは、美しく着付けられていく姿を拝見しながら、私は緊張を落ち着けようと思いついていました。振袖姿で、前結びの創作帯の練習をして臨んだ本番では、羽根の形が決まらなかったものの、先輩による手直しのおかげで、無事にきれいな結びに仕上げる事ができました。

◇シヨに向けての勉強会が、東湊公民館で行われました。

九月三十日
前結びを習いました。



十月二十一日
尾谷先生による時代衣裳の着装



一泊研修バスの旅



関の地蔵院への 研修旅行

金沢教室 中座 道子

七尾からのバスに金沢駅より乗り込み、一路奈良に向けて出発。学院からの研修旅行は初めてで地蔵院の庵主様の事は学院長よりお聞きし楽しみにしていました。地蔵院は思っていたよりこじんまりした建物でしたが歴史は古く由緒あるお寺のようです。ご縁でここに来られた時はとても荒れていた地蔵院を立派に再建したいという思いを持ち続け、日々、努力され、地域に融けこみ、今日にいたったまでを話されました。再建までは大変な事もありでしょうに、その時々々の困難をさりとユーモアを交えて話されました。「何事も思いを一途に持ち続け固定観念にとらわれず、発想の工夫で事を成す」という事を私はお話しの中より感じとりましたが難しい事です。落慶法要の行列に既婚女性の振袖道中の話しも楽しかったです。お地蔵様はあ



大型バスで三重県・関の地蔵院をお訪ねしました。七尾ご出身のご住職、宮本光順様のあたたかいおもてなしを受け、心も身体も大満足しました。翌日の奈良・薬師寺では執事の加藤朝胤師の説明を頂き、平山郁夫画伯の壁画を鑑賞。感激した荘厳な山々との群青がよみがえってきます。

学院行事としては初めての 一泊研修旅行

鹿南教室 三浦 一枝

十一月十日・十一日総数四十五人、鹿西教室から五人参加しました。研修旅行気分です。バスは鹿西脇志館に停まって頂きました。一日目は三重県、関の地蔵院で法話、昼食。地蔵院のご住職様は七尾出身の宮本光順様とおっしゃって京都大覚寺で十四年間修行され、隣の仁和寺を経て、現在の地蔵院を守ってこられた方です。女性のご住職様でもとても親しみを感じながら講話に聞き入りました。大切なのは気持ち、着物を替えて気分が変わる。「あつと言っ間の人生だから自分の責任で生きなければ」と、という言葉頂きました。いつも私が迷って居ると、山原先生が一押しして下さるのを感じ出し何か重なるものを感じました。同寺院の離れでお抹茶を頂き満足感にひたり旅を進めました。



一泊研修バスの旅

高松教室 二口 富子

十一月初旬、三重県関の地蔵院、どんな所かな？着いた所きほど目立つて大きな建物ではなかったが、でむかえてくれたのが小柄な庵主さんでした。待ったのよと、それは優しい笑顔でした。すぐ昼食、心のこもった精進料理を頂いてその後庵主さんの法話で地蔵院を再興された話しを聞いて頭の下がる思いがしました。二階の展示場の写真がとてもユニークで六十代の女性の振袖姿がありました。地蔵院再興行事で街を練り歩いた時の写真でした。今はどこでも若い人はあまり着物を着ないので中年の人が着たとの事でした。着物にたずさわる一人として感動した一日でした。



一泊研修の旅

(薬師寺)

七尾講師会 福田二美江

学院行事の一つでも多く参加したいと思い参加しました。その一つ、薬師寺について、加藤朝胤様に案内して頂き、薬師寺と玄奘三蔵との縁を伺いました。薬師寺は現在、興福寺と共に法相宗の大本山で、宗祖は中国唐代の慈恩大師ですが、宗祖の師匠にあたるのが玄奘三蔵だそう。玄奘三蔵の求法の旅をたどる「大唐西域記」は、『不東の精神』でエジプトへ向かった旅で、七場面、十三壁画より成っており、平山郁夫画伯が描いて献納されたそうです。その中で、私は格天井に描かれた夜空が本当の星のようで、とても印象的でした。最後に加藤朝胤様がバス迄ご挨拶に見え大変感激して帰ってきました。

関の地蔵院へ

松井教室 松井 吉子

学院行事での「三重県関の地蔵院「一泊研修会」に参加。大きな屋根の関の地蔵院は、我が国最古の地蔵菩薩で、国の重要文化財に指定されている。地蔵院の玄関に入ると古備前のような巨大な壺に、柿の紅葉の原木が生け込まれている。別の部屋には花寄せ。また随所に生けられている季節の花はな花。手入れされた庭の木々。その下には真っ赤な千両。落ち着いた雰囲気の中、庵主様の



「いさん、頼むわ。——」
この会話が始まる四姉妹の小説がある。このあとを続けると次のようになる。

「鏡の中で廊下からうしろへ入って来た妙子を見ると、自分で襟を塗りにかけていた刷毛を渡して、そちらは見ずに、眼の前に映っている長襦袢姿の、抜き衣紋の顔を他人の顔のように見据えながら……」と続く。随分昔の事であるが、ある動機があつて谷崎潤一郎の「細雪」を読み始めた。そして真つ先にぶつかったのが、「抜き衣紋の顔」である。

「時局に非協力的」「戦時下に不謹慎きわるま」として、軍部の圧力により出版中止となったこの長編小説は、戦後、「源氏物語の現代版」

「抜き衣紋の顔」

七尾市教育長 相川 泰



紙、観世水など辞書の世話によくなった。「畳紙」の読み方を知ったのはこの時である。

近年とくに伝統文化の再構築、再確認が叫ばれているが、古来、日本の文化は年月を経るに従って希少価値となり、屏の奥に姿を消すものが少なくない。

この着物の世界は何しろ着るのが難しい。そして高価であると感じている人が少なくないと同時に、郷愁を抱いたり、又、あこがれを持っていて、文化は単独でひとり歩きはできない。いろいろな文化と手を取り合いながら、未来に楽しい夢を描きたいものである。



「基本を大切に！」先生の言葉が耳元に聞こえてきたように感じた。(ハイ心の中で返事をしたらスーッと緊張感がなくなりました。自分でもやっている動作がしっかり見えてきた。着物に帯が吸い付くように結びたい。複雑なものより研ぎ澄まされた帯結びの美しさを、リズムカルに楽しみたい。そう、今私はそれを実行に移す機会を与えられているんだ。

先生ありがとう。みんなありがとう。終わった・・・

「紅梅」は、人数は少なくとも月二回の例会に熱心に参加して五年の研鑽と人の和のつながりを大事に会を続けています。私は小物使いや色の組合せに自信がなくていつもメンバーからアドバイスを受けます。



娘が日舞を始めたことで必然的に習い始めた着付けですが、自分でもこんなに長く続いている習い事は今まで初めてです。娘は変わり結びを喜ぶのでようやくこのごろ市販の本に書いてある結び方が理解できるようになって次はどの結び方にしようかと考える楽しみができました。手で覚えたことは常に手を使うことでアイデアが広がります。これからはきれいな仕上がりで喜ばれたいなあと思っています。

◆装いコンテストに参加して
西谷教室 川端 美樹

せめて一人で着物を着る事が出来ればいいなと思い習い始めました。それから四ヶ月余で、装いコンテストに参加してみても出られる状態ではないと何度か辞退したのですが、熱心な先生の誘いと、何にでも参加するのは良い経験ではないかと思い、参加する事にしました。当日、まさかの入賞を頂き、驚きと同時に私以上に先生が喜んで下さり、参加して大変良かったと思っております。有難うございました。



◆すばらしい一年のスタートに
尾谷教室 中出 志保

楽しみにしていた「初春の集い」。会場の華やかさもさることながら、先生、生徒の皆さんの艶やかな着姿も、楽しみの一つです。中でもショーの着付けはみんな凝った趣向で、時代を見事に表現したものや、新しい技を取り入れた帯結びなど、すばらしい作品ばかりでした。その中で、自分の着付け、帯結びはトータル的にどう評価されるのか期待しつつむかえた発表・・・。

「初春の集い」に参加して五年になります。毎年、雪がどうだったか、会が華やかだったか、参加することに意義があったかなど、しばらくは話題に事欠きません。その間、東京と大阪の総会に参加して楽しい旅行を味わいました。

第14回

初春の集い

平成14年1月20日 和倉温泉 加賀屋で盛大に行われました。
装い・帯結び・トータルの三部門に分かれ、日頃の技術を披露。
学院長から指導員資格取得者と準師範の免状が渡され、華やかさと緊張のなか遂行されました。
御家族の方々も参加いただきありがとうございました御座いました。



コンテスト入賞者

- ◆装いコンテスト入賞
小泉 雅代 向田日登美 中西 曉視 川端 美樹 田中 享美
- ◆帯結びコンテスト
○北陸中日新聞賞 浦川 幸子
○翔 賞 中出 志保
○アイデア賞 岡下 真子
- ◆トータルの美コンテスト
《ミスの部》
○最優秀賞 小野 敏子 松田 恵子 中久保久美子 (金沢教室)
○あえの風賞 藤田 寿代 瀬口 良子 春木 直樹 (七尾準師範会)
○優秀賞 亀野千香子 今井 公子 近江 恵実 (古田教室)
《ミセスの部》
○七尾商工会議所会頭賞 竹村 明子 吉田 明美 (金沢社会保険センター)
○二位賞 笠松 亜紀 会津メイ子 (金沢社会保険センター)
○三位賞 清水 厚子 川本美千子 (森千代子教室)

コンテストに出場して

フォーラム七尾教室 小泉 雅代

習い始めて三ヶ月で着付コンテストに振袖で出場ということが決まり、その日から毎日練習に励みました。始めは手順を覚え時間内に仕上げるだけで精一杯でしたが徐々に慣れ、先生のアドバイスを受けることに上達し、やがて見栄え良く着れるようになった時は心から喜びました。

コンテスト当日は教わったことをきちんとこなせ、最も気にしていた帯結びも上手く形作れ今まで一番納得のゆく仕上がりました。又入賞という二度の喜びで「やればできる」を実感しました。お忙しい中時間を割いて解り易く教えてくださった先生、会場運営をしてくださった教室の方々大変感謝しています。ありがとうございました。

初春の着付けショー

参加の御家族 清水 貞江

昨年はあえの風、今年に加賀屋にと二度も出席させていただきました。日頃のお稽古の発表会、帯結びコンテストを拝見出来ました。コンテストともなると緊張感もあり、お一人お一人大変な事だと思いが、拝見する側にも着物の種類や帯の好み等、柄の多さに色彩の美しさにも驚かされました。山原先生のご指導のもと、学院生の一挙手一投足に感心しました。大変良い勉強になりました。有り難う御座居ました。日本の民族衣装でもある和服の良さを改めて見直しました。日常生活の中にも着物を着る機会をもっと作りたいものです。会の発展をお祈りいたします。

創作帯結び

今回、山原学院長が、創作帯結びを発表されました。右から順に『愛』『世界平和』です。



能登国際テント村2002 参加事業

テーマ：『港あそぶ 夢つくる』

「山原昌娃きもの着付学院 きもの着付ショー」

平成14年5月4日（土）七尾マリンパーク



能登国際テント村の催しが五月四日、五日と二日間に渡り、今年新しく完成した「七尾マリンパーク」で行われました。
私達、山原昌娃きもの着付学院もこの事業に参加しました。今回はステージも広く、また海をバックにするなど、これまでとは全く趣の違うショーになるだろうと誰もが確信していました。しかし当日は、あいにくの雨で急遽、能登食祭市場内「モントレー広場」で行われる事になりました。段取りも全て変わってしまいましたが、みんな自分の持ち場を一生懸命頑張りました。

「きもの」に寄せる思い

特別出演 野見亜希子

「利家とまつ」ブームと、きもの女王の活動がきっかけとなり、着付ショーに参加してみませんか？と声をかけて頂きました。ショーでは、昔の普段着風の着物を着て、白塗りのお化粧に、かつらまで施して頂きました。時代衣装をまとい、わくわく楽しい気持ちで一杯でした。また、皆さんがすべて自分でも美しくきものを着られていたのにも感動しました。現在私はきもの文化の普及のPRに微力ですが活動しています。日本が誇る美しく素晴らしいきものを心から愛し、そして自分で着物を着られるのはとても素敵だと思います。きものを愛する人々が、きもの良さを着付けの楽しさを多くの人に伝えるこの機会に参加させて頂き、大変光栄でした。そしてここから山原先生、教室の皆様へ感謝いたします。きものを愛する人がこれからも益々増えますように。



港あそぶ、夢つくる

ケイ教室 宮本 徳子

当日になってひどい雨。真新しい港を一望する野外ステージ。とても気持ちが良いだろうと、自分の技量は差し置き楽しみにしていたのですが、結局モントレー広場のショーになりました。創作帯結びでしたが、先生や仲間達の適格なアドバイスでなんとか形になり、当日はたぶんこれまで一番うまく結べたかしらと。港であそぶことはできなかったけど楽しく学ぶことができました。この様な機会を与えて下さり感謝しています。ありがとうございます。

きもの着付ショーに参加して

田鶴浜教室 高畑 紀子

今回私が参加したきもの着付ショーは結婚式が舞台となりいろいろな着物の変わり結びを披露しみんなで最後は花嫁を祝福しようという感じのものでした。

私は最近の行事となるとたいいてい見学する側が多かったので久しぶりに不安と緊張感を味わいましたが、そのわりには「どうせ参加するなら派手に」と前日美容院に行く程の張り切り様だったかも。そんなめずらしい行いのせいか天気はどしゃ降りとなつてしまったのがとても残念でした。

創作振袖

小紋のきもの地を使って振袖を！
靴を履き、両手を広げて鳥のように。
きものの良さを残し、そして軽快に！



中央は上島洋山先生創作の「天空」能州袖のお振袖です。個性ある振袖にパールをつけて花嫁様用にと提案しました。

着付ショーに参加して

金沢講師会 鹿島真理子

「モデルをしない？」山原先生のお誘いに即返事で了解。着付ショーのプロローグに参加させて頂き大変貴重な経験をしました。未来系きものを着せてもらい、将来もっと素敵な着物が出来ればいいなと思いつつも帯結びをされてる方を見て上手に着付けたい気持ちが高まりました。今後向上心をもって着付けに携わりたいと思います。

未来の花嫁

金沢講師会 松井智紗子

先輩方が着付ショーを行う中、私は山原先生によって、「未来の花嫁」に変身させて頂きました。海の色彩で紡がれた振袖に身を包み、笑顔と美しい身の熱しを意識しながら、ステージに立ちました。演出した山原先生の願いが叶ったかどうか心配ですが、私自身はこの大役の機会を与えて頂いて、大変光栄に思っております。

ニュー着物で初舞台

津幡教室 前田 里恵

着物だけでなく普通の着物とはまた違うニュー着物（創作振袖）で金沢から三人、プロローグに参加させて頂きました。当日は雨で大変でしたが、私の初舞台は緊張しながらも楽しくできたと思います。実技の方々の素晴らしい帯結びも大変勉強になりました。自信をつける為にも、機会があったら、また是非参加したいです。

能登国際テント村2002

七尾講師会 国部 圭恵



華やかに舞った能登国際テント村でのショー。見る側も見られる側も、日常の喧噪を離れ、しなやかに酔う。そんな華やきの中にも帯結びの披露という学びの心を忘れず、確実にいくつかの技術習得を確信する。着物を着てシャナリシャナリと歩くだけではない。見る側にあんな着物を着てみたいではなく、あんな風に自分で着られるようになりたいという思いを伝える。
きものをもっと身近なものにという私達学院生皆の願いが花開き、キラキラと輝いた。まさに、テーマ通り『港であそび、夢つくる』一日だった。

花火のご褒美

七尾講師会 崎田 明美

五月四日青柏祭の中、食祭市場での着付ショーに参加しました。朝から生憎の雨模様で屋外でショーの予定が食祭市場内のモントレー広場で急遽行われる事に。沢山のお客様の間近での帯結びに少し緊張しながら帯結び後、子供の着付けに手間取り汗が出ました。私は夜の部にも参加、洋服のモデルさんに混じり自分でも苦笑しながら浴衣で慣れないウオーキング。帰りには雨も止んで祭りの花火が丁度打ち上がり、一日の疲れを癒やす様にとっても綺麗でした。



「七尾マリンパーク」は新しい市民の憩いの場、交流の場として活用されるよう期待されて造られました。また機会があれば、こゝできもの着付ショーをしたいものです。

資格取得者一覧

準師範



松田 俊子
金沢市大浦町

「準師範をいつか頂きたい」それが私の念願でした。いまその夢が叶って、とても嬉しく思います。これも山原先生のご尽力のおかげと感謝にたえません。また健康センターにおいて、上島先生の助手を五年間させて頂いた事も大きな経験となりました。沢山の方々との一期一会を大切に、いつそその努力をし、着物文化を伝えて行きたいと思えます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



山本 由美子
鹿島郡中島町

学院長、諸先生方のご指導により準師範の資格を手にする事が出来、また家庭の理解で長く着付けに携わることが出来た事に感謝したいと思います。「継続は力なり」今後も続ける事により自分の力にし、さらに指導する立場として成長して行けるよう努力したいと思います。



羽賀 正枝
金沢市山王町

講師を頂いて以来助手を務めて参りました。その間人の中で、自分の足りない処を見つめるばかりの八年間であります。しかし、この七月から金沢社会保険健康センターで講師の役を頂きました。周りの方々の支えに感謝し、自分磨きときもの着付けの普及に参ります。



高松 美智子
鳳至郡門前町

この度、たいへん未熟な私に準師範の資格を頂き感謝です。今まで着付けに携わってこれたのも、多くの素敵な先生方、お世話になる事が出来たからです。ありがとうございます。これから、着付けを通じて、新鮮な出会いを経験し、『パワー全開』ますます勉強して行きたいと思えます。



室宮 和子
羽咋市東川原町

私程着物と無縁の者はいないと思っていただけに、講師資格を頂いた事はもう一人の私を見つけた感じです。知らない間に姿勢や気持ちをかえてしまう着物。着付けを通して多くの人にこの気持ちを味わってもらいたいと思います。



瀬戸 好美
河北郡七塚町

茶道を習っている中で、年に数回着物を着る機会があるのに自分で着ることができず、着せてもらっていた私ですが、自分で着たり、人に着を結んだり出来るようになりました。今後も楽しく勉強していきたいと思っております。



松井 智紗子
河北郡宇ノ気町

「自分でも着物が着られたらいいなあ」という思いから習い始めて三年。なかなか上達しない私でしたが、先生方の熱心な指導のおかげで、講師の資格を頂くことができ、感謝しています。今後も精進していきたいと思えます。



衛 亜規子
河北郡津幡町

山原先生をはじめ、諸先生の温かいご指導と一緒に学んだ皆様の心強い支えによって、今まで楽しく続けることができました。又、着物を装い、着付ける以上のもも学がごとができました。ありがとうございました。



角島 早苗
金沢市栗崎町

京都での憧れの講師資格試験に合格し、山原先生の献身的なご指導の賜と深く感謝致しております。今後大切な仲間と共に、着付けを更に奥深く学び、娘や周囲の方々へ日本文化の着物を着る喜びを伝えていきたいと思えます。



竹田 幸子
河北郡内灘町

何気なく通い始めた着付け教室。そんな私が、講師資格を頂けるなんて、想像もつかない事でした。これも、情熱ある先生のご指導、励まし合い協力し合った仲間達、家族の理解があつてこそ、感謝の気持ちで一杯です。



篠田 扶美子
羽咋市南中央町

自分で着物を着られる様になりたいと思ひ、着付けを習い始めて、この度、講師の資格を頂き大変嬉しく思えます。これもひとえに先生や、たくさんの方々の仲間のお陰と感謝しております。これからも着物を通して和を広めたいと思ひます。



東 淑子
羽咋市柴垣町

私には、着付けは無理なのではないかと挫折しそうな時もありました。でも教室の先生に励まされ見守られ頑張ってきた。合格証を授けられた時、大きな声で『先生ありがとうございます』そして、家族に感謝の気持ちで一杯です。



濱 和子
鹿島郡出鶴浜町

指先で糸元を確かめる。おはしよりには織は、すべてOK、ホッ。ここで漸く心にゆとりが。こうして私も講師の仲間入り。娘に着物を着せたい・・・母が私にしたように・・・と始めてこころまで、着物文化を伝えられるように願っています。



橋谷 多津子
羽咋郡富来町

資格を頂いて一番驚き喜んでくれたのは母でした。あのお転婆娘がこころまでするとは思わなかった様です。母の協力・良き指導者・仲間達との出会いがあつて頂く事が出来たと思ひます。今後も更に勉強してゆきたいと思ひます。



松本 敬子
河北郡津幡町

「自分で着物が着られたら」そう思っ始めて着付けの勉強。先生方と良き仲間のおかげで、講師資格を取得する事ができました。これまで学んだ事を忘れない為、かつもっと上達する為、今後尚一層勉強に努力いたします。



吉田 明美
河北郡津幡町

日本の民族衣装を自分で着れないのを残念に思っていた時、素敵な出会いがあり、講師資格を頂くことができました。先生方には、感謝の気持ちで一杯です。今度は、着物がより身近な物になるよう努力していきたいです。



前田 里恵
河北郡津幡町

着物が好きで、着る度にただ喜んでいた私が、温かい先生方と楽しい仲間に出会って、講師資格を頂くことが出来、大変嬉しい事です。多くの人に着物の良さを伝え、喜んでもらえるように一層努力していきます。



小浦 信子
七尾市湊町

五〇代も後半、着付け教室で習い始めて早くも二年数ヶ月が過ぎ、その間色々な催し物に参加させてもらい、七月には講師資格証を頂きました。教室の先生始め先輩の優しいご指導に感謝の気持ちで一杯です。これからも一層努力し頑張ります。

澤田鍼灸治療院

はり・灸・マッサージ
氷見市幸町21-16 ☎74-5805
☎74-5801

上田石油(株)邑知SS

〒925-0623 石川県羽咋市本江町ト27
TEL: 0767-26-1334

北陸電力公認

電気工事一般



フタクチ電設工業株式会社

石川県河北郡高松町字高松ミ5-3
TEL (076) 281-1918(代)
FAX (076) 281-3128
〒929-1215

一手打ちそば



門前町総持寺通り
☎42-1998

ベッド・プライダル寝具



羽毛工房スリーピー

金沢店: TEL (076) 257-4188
松任店: TEL (076) 274-5887

和

オシヤしなきものあいま

長谷川 博 敏

〒923-1226 辰口町緑が丘4-48
TEL (0761) 51-5851
☎1090-9448-6365

高級呉服、洋服、
寝具、水引、
結納一式、婚礼衣装



〒925-0202 石川県羽咋郡志賀町字代田へ-15
TEL (0767) 37-1221(代)



春木直樹
七尾市松物町

山原先生からは、色々な事を学ばせて頂いておられます。例えば人との接し方、気配り、またリーダーシップのとり方など。学院生として自覚を持ち日々精進し、着付けを通して、より一層勉強させて頂きたいと思っています。



春木和子
七尾市松物町

私は、或る方の「念すれば花ひらく」の言葉が好きです。日本人として着物に携わって生きていく人生は、幸せだと思いつつ日々過ごしています。着物を通して育てて戴ける全てに感謝し、花ひらくを念じています。



大橋 由起子
氷見市幸町

着物を着たときの立居振舞が心地よく、普段から携わっていたいと思いつき始めました。針仕事ではピンチの連続！けど、先生方の熱心なご指導のおかげで講師の資格を頂きました。これを励みに勉強を続けてまいります。



南 照子
氷見市中村

娘も大きくなり、私も母として着物を着せられたらと思い習い始めました。先生方の熱心な指導のおかげで講師の資格を頂くことができました。今後も技術を深め、たくさんの人に喜ばれる着付けをしたいと思っています。



澤田純子
氷見市大野

嬉しくて、夢のようです。娘の成人式に我手で振袖を着せたいという思いから始めた着付けでした。それが講師の資格をいただけるまでに。なれたのは、先生方や教室の仲間の皆様のおかげです。一層の精進を重ねたいと思います。



谷澤博美
氷見市栄町

同じ目標に向かって、楽しくがんばった仲間達とのお稽古が、今はとても大切な日々だったと思えます。これからも『着付』の意味である着物の着方、着こなし方を、楽しく学んでいきたいと思っています。



谷口京子
氷見市栄町

自分で着たい、娘に着せたいと思い、始めた着付け、先生方の熱心な御指導のおかげで、講師資格まで頂く事ができ、感謝の気持ちで一杯です。今後も更に切磋琢磨で、頑張ります。

「指導員の免状を いただいて」

氷見教室 鷺森真由美

私が着物の着付けを習おうと思ったのは、家が寺で着物を着る機会が多かったので自分できちんと着られなかったからである。最初は、手が後ろに届かなくて腕が筋肉痛になったりして悪戦苦闘していた私を、先生がわかりやすく指導して下さいました。「指導員の試験を受けてみなさい」と言われた時は、不器用な私でも受かるのでしょうかと聞きかえすくらい自信がなかったのです。その私を先生は、ていねいに優しく指導してくださり、無事に（免状）を手に入れることができ、うれしく思っています。七尾での授与式では、着付けの他に着物での立居振舞の勉強もでき、今まで知らなかった事やわからなかった事が、よく理解することができたと思います。次の講師にむけての意欲も少しずつわいてきたように思います。

指導員資格取得者一覧

小浦 信子	西田 益代	中原奈美紀	米倉久美子	中西 暁視
澤田 晶好	舟塚 雅恵	吉野 智恵	登 好美	杉元めぐみ
岩見 好子	守山 裕香	州崎 裕美	秋谷 澄江	鍛冶 靖子
熊野 沙織	春木 和子	久水 康子	中泉由美子	清水 裕子
宇小 景子	藪田 淳子	尾田美千代	土屋 丞子	会津メイ子
春木 直樹	鷺森真由美	山本 悦子	小崎 周子	清水 紀子
宮下 美恵	石田 一子	向田日登美	沢 ひろみ	

ありがとございました

学院長 山原昌佳

薬師寺の加藤朝胤様、そして関の地蔵院の宮本光順様にお目にかかり、お話しをお伺いする事が出来ました。昨年の十一月ですら、そろそろ一年になるうとしていますのに、お二方のお手の温もり、暖かい眼差し、お言葉がよみがえって参ります。お二方には求めているお話を戴きました。加藤師には七尾の中日文化センターで、宮本光順様にはフォーラム七尾でそれぞれ講演を拝聴しぜひ学院の皆様と共に一度、この思い強く一年前から企画、実現しました。

墨衣を着ておられる方のお話しは、ともすれば癒やしを求める、癒やし系と取られがちですが、宮本光順様からは、生きていく為の力、パワーを戴きたいの思いで出かけました。

心こもるお話を聞いた後の話しでは、笑いとお話を誘い、巧みな話術で聞き手を魅了します。事実にも打ちこまれているゆえに心を揺さぶってきます。参加者一人ひとりがそれぞれの立場で納得し「生きていく為の智慧をさすかた」ではないでしょうか。

奈良の薬師寺はテレビでみた「玄奘三蔵」が旅した足跡を描いた、平山郁夫画伯の壁画をぜひ見たいと思いました。美しい大自然、切り立つ山脈そしてあの群青の魅力を。

加藤師の説明をお聞きしながら、目を凝らして山々のヒタを、輝く霊峰をみつめます。魂が吸い込まれるように戸外、壁面の前に佇みます。日の出・真昼の太陽・陽が傾きオレンジ色に染まる風景・夜空の月。平和への祈りが聞こえてきます。

立ち去り難い思いを振り切りバスへ。お忙しいはずの加藤師がバスのみんなに手を振って、長い間手を振って見送って下さいました。

きもの着付けの行事から離れて、初めてのバスの旅。これからは、技術と共に心も磨いてゆきたい、願いつつ。

着付士科最終授業



相手にさせる

金沢着付士科 竹田幸子

振袖十七分、留袖十六分で相手にさせる。というのが着付士科の最終目標です。盛夏の七月、長襦袢の着せ方から、授業が始まりました。声のかけ方、紐をさばく時の指の使い方まで、こと細かに御指導いただき、楽しく新鮮で、目から鱗の授業でした。

また、補正の大切さも学び、補正づくりでは、苦手の針を持ち悪戦苦闘しました。

新しい仲間との出会い、学ば楽しさ、一つの事をや

七尾講師の会会展

九月二十三日、二十四日サンライフフェスティバルに七尾講師の会会展も催されました。

山原先生の今年の出品は創作の京袴です。加賀友禅染と日本刺繍・ステンシルで表現されていました。

金沢社会保険センター



金沢社会保険健康センターは金沢市小坂町にあります。プールや歩行回廊も備えた、カルチャー施設です。きもの着付けは四クラスあり、講師四人と助手の先生四人がお世話になっています。

毎年、年初めに講師懇談会が催されます。ダンスの先生やカラオケ教室の先生方と年一回お話しするのでお隣様で今では親しくお話しをさせて頂けます。お世話の苦労がわかるだけに、何もしないで出席する楽しみを味わっています。



能登半島国定公園 氷見灘浦海岸

日本観光旅館

味達場 湖城

富山県氷見市阿尾海岸 ☎ (0766) 74-4100 FAX (0766) 74-2838

氷見市 田子屋

富山県氷見市比美町 電話(0766)74-2944

春直呉服店

〒926-0048 七尾市中央通り TEL0767-53-0423 FAX0767-52-9033

月々¥2,000~の『春直友の会』会員募集中！

《アルソア化粧品》取扱店

七尾駅

高沢さん、のとしんさん、石川BKさん、林屋さん、北園BKさん

お車でのお客様は奥の10、11、12の駐車場をご利用下さい。

有限会社 春直呉服店

授与式 & 講習会

平成十四年七月二十一日
於・パトリア

平成十四年度、山原昌雄さんの着付学院の授与式と講習会が七月二十一日、七尾駅前パトリア内四階ホールで一四五名の参加者のもと開催されました。緊張のうちに授与者一人ひとりに学院長より資格証が手渡され、その後恒例の新講師による、すばらしい模範演技が披露されました。講習会では、日本現代作法会長の篠田先生をお招きして、着物姿での立居振舞と題して、各自持ち寄った座布団を使つての作法、又その他の礼儀等、とても充実した楽しい時間が流れました。

「授与式に参加して」

鍛冶教室 鍛冶恵美子

今年の夏は本当に暑い日が続き、授与式当日も例外ではありませんでした。それぞれの資格を取得した方達の熱い思いも加わって式場は熱気であふれている感じがしました。そんな中、模範演技では紅一点(?)中央で男性が堂々と羽織、袴を着ておられ、興味シンシンで見とれてしまったのは私だけでしょうか?

女性ばかりの中でやりにくい事も多々あったでしょうに頭のさがる思いです。私ももっと頑張らなくてはと励まされました。

初心忘れるべからず!

授与式に参加するたびに気合をもらっている気がします。



「授与式と講習会について」

西谷教室 西谷 洋子

授与式について、いつも思う事は資格をとる迄の道のり、努力、継続協力、年月等々によって身につくものであり、自分だけの大事な宝であると思うつくづく思います。ですから授与される場面をみますと、本当に感動します。

それに今回の講習会は篠田弥寿子先生、たしか平成七年の授与式にも阪神大震災に、あわれたにもかかわらず、「美しく輝いて生きるあなたへ」と題し、あかるく講演して下さいました。今回の講習会は着物着付けにとつては、きつてもきれいな現代作法、座布団の扱い方、日常何気なく過ごしている私にとっては、大変勉強になりました。

「授与式で想う」

津幡教室 浅井美智子

資格を授与された皆様おめでとうございます。嬉しさと緊張感が伝わって来ます。奇しくも七年前もフォーラム七尾での授与式でした。そして篠田先生の「美しく輝いて生きるあなたへ」と題した講演でした。実行委員になり、自覚を持って懸命に動いてくれたメンバーとの想い出を回想しながら改めて着付けを通しての出会いに感謝感謝です。

今回のテーマ「着付姿での立居振舞」の講習会では、美しいしぐさと挨拶の基本から始まり、座布団の扱い方、訪問のマナー、おもてなしのマナー等々実技を交えながらの勉強会、本当にマスターしたい事ばかりでしたが記憶力の低下でなかなか身につけてくれません。日々の生活の中でも礼儀作法やマナーで戸惑いや不安を感じる事が度々あります。自分の気持ちの表し方について本当に難しいです。暑い中、篠田先生は相変わらずしんやりと美しく輝いておられ、感動です。



「指導員資格を取得して」

高松教室 登 好美

子供の頃より着物を着る機会が多かった私。大好きな着物を自分で着たいと思い習い始めて一年三ヶ月が過ぎました。この度、先生の指導のもと、又先輩方のご指導のおかげで指導員資格を取得することができました。本当に嬉しく、益々着物の奥深さに心引かれる今日です。

日本文化の一つである着物を後世に伝えつつ、現代社会における着物の存在を改めて考え、見直す良い機会になったと思っております。今はまだまだ勉強の段階で、人に着せる事の難しさを実感致して居ります。自分では是非参加させて頂ける様、今後共、着付けの勉強にはげみたいと思っております。

今回の授与式には家の都合で残念ながら欠席となりましたが、新聞等で拝見し、先生よりお話を伺って今度は是非参加させて頂ける様、今後共、着付けの勉強にはげみたいと思っております。

「現代作法に参加して」

本校 久木満津美

和服での動作の基本は低く、ゆつくりと、静かに。はきものの扱い方。正面を向いて上がり、相手に失礼のないように座り、はきもののむきを変えて下座側によせる。

・座ぶとんの正しい扱い方

三方の縫い目のきせが、下向きで「わ」が前とする。前にある座ぶとんに後からにじり上がる。にじり下がる。横が座ぶとんにならぬに、にじり上がり下がる。

・扇子を使つて座入りする時

畳の前より三分の二の位置に立ち、座りリンより二センチ程下がり扇子を置く。茶の入れ方、ひきかた等々言葉や表情がとても豊かだからだ全体にあふれる実技にあつという間に時間が過ぎてしまいました。

「授与式と講習会に参加して」

金沢講師会胡蝶蘭 後藤 幸子

恒例の授与式は、今年は座布団持参での出席です。一緒に学んだ方々の顔を探し、壇上で資格証を受領されるのを拝見し、一安心。模範演技も、自分の時とは異なつて、余裕で眺めさせて頂きました。篠田先生の講習会では、玄関に入つて、一歩外に出るまで、色々な作法がある事、座布団に座ること一つをとつても座り方が有り、お茶一つ、半紙一枚に付いても、細やかな心遣いが必要と

「晴れの授与式」

金沢教室 会津メイ子

七月二十一日、フォーラム七尾で着付学院授与式に出席することが出来、試験当日、汗みどろになりやつと合格した指導員資格を頂きました。

当日は準師範、講師の方々も沢山資格を頂き、又講師の方々の模範演技に自分も・・・と意欲をかき立てられる気持ちで見て頂きました。

又、日本現代作法会の篠田弥寿子会長の講演も同日行われ、いつもは何気なくしている動作の一つ一つを美しい作法で教えて頂き、どれだけ身につけることが出来たか自信はあまりありませんが、とても有意義な時を過ごさせて頂き、そしてもう一段階上に挑戦する楽しみに期待が持てたことを感謝出来た一日でした。

「感動の日」

金沢社会保険センター 沢 ひろみ

この度、指導員の資格を頂く事が出来ありがとうございます。これもひとえに山原先生始め諸先生方の御指導のおかげです。授与式もたいへん感激いたしました。授与式後の新講師のみなさまの着付けの演技にとっても感動しました。まるで踊りを見ている様で優雅で美しくむだな動きがありませんでした。たいへん勉強になりました。私もこれから先生方に御指導いただいたがんばらうと思ひました。

実行委員長 松本 綾子

夏、真つ盛りの去る七月二十一日の日曜日に「授与式、講習会」が七尾駅前パトリア内の四階ホールで開催されました。参加者は百四十五名でした。お昼過ぎからの開催でしたので、実行委員は交代で昼食を頂き式は時間通りに進行して行きました。使わなくても良い所に気を使い、大切な所が抜けていたり、それでも諸先生始め廻りの実行委員の方達のアドバイスを受け乍ら、お陰様で何とか無事に終了する事が出来ました。篠田先生の着物姿での所作、礼儀、作法に関する判りやすい講義も、とても勉強になりました。それぞれ自分の知識の一部として吸収された様でした。折角日本人として生まれたからには、何とか美しく着物を着る事が出来たらと思う気持ちは、皆さん同様におもひのことと思います。が、一人ひとりの個性を活かした着物の美を今後も共に勉強してゆきたいと思ひます。皆様の御協力本当に有り難うございました。

キ・モ・ノ 一言

今は亡き女優の沢村貞子さんの着物に関する印象深い言葉を二つ御紹介致します。

①『着物は、どうやって美しく着こなすのでは無く、遊び心をもつて美しく着く事が大切』

②『女房は長襦袢の衿の様にあれ』出なくてもおかしいし、さりとして出すぎてもみっともない。皆様如何ですか?



総会に参加して



とき 5月18日(土) ところ 大阪リーガロイヤルホテル

いうテーマで始まりました。梅沢先生が考案した、姿勢に三重ひもを取り付けてある新しい姿勢。その姿勢を使つてのいろいろな変わり結び。どの顔も、どの顔もその帯の結び方を見ようと首を伸ばして舞台上に釘付け。目から鱗状態で眺めていました。

昨年、大阪に移り住んだ私にとって総会は懐かしい方々との再会を意味するものでした。梅田駅北口、約束の時間に到着した中座、尾谷、嶋田先生達と合流。その後会場のホテルに直行。久しぶりに会食と楽しいおしゃべりに花が咲きました。

総会イコール再会

師範会 平田 佳子

自由行動の二コマ



総会に参加して
尾谷教室 尾谷 幸子
五月十八日、我々は総会へ出発する為にサンダーバードで大阪へ。午後五時には五百人ほどの着物を着た人でリーガロイヤルホテルの三階は埋め尽くされました。今回は総会三回目とおっしゃる梅沢亮子先生、きもの輝きまショー「味彩」と

その後、山原先生にお目にかかり、暖かい励ましの言葉をかけられ、思わず涙してしまいました。着物から離れて七ヶ月。久しぶりに着る着物は私の心の病を取り去る心地良いものでした。「年に一度位は会いましょう」との言葉を皆さんからかけられ又々ウルウル。沢山の元気をもらって家路に着きました。総会は華やかで素晴らしいものでしたが、先生方との再会はそれ以上に幸せを感じるものでした。

総会に参加して

鹿西教室 宮島まり子

今年の五月十八日全国きもの指導者協会大阪総会に参加しました。梅沢亮子先生のきもの輝きまショー、コーリン姿「簡単感嘆」は楽しみながらの帯結び、美味しい食事を頂いてあつと言つた三時間でロマンチックな夜まで語り合いました。(年代をつまかされてきたという実感...)十九日はタクシーにて早朝より大阪城、NHK大阪、通天閣、道頓堀(グリコ)Jリーグの看板、四天王寺、一心寺と市内を満喫し、大阪名物鶴橋 風月のお好み焼きを堪能しました。さすが大阪、外国人が多く、大阪きもの教室の先生方も大変だなと思いつつ、帰りの電車の中ではまたまた話が尽きません。健康で総会に参加できたことを感謝しつつ家路へと帰りました。



参加者全員の素敵な笑顔

学院だより(一)

総会

二月十一日、和倉温泉・銀水閣で、総会が開催され、事務局からの十三年度決算報告に続き、各教室、師範会、準師範会、講師会、各会の活動報告や方針など、活発な意見が交わされました。その後、懇親会が行われ皆さんの活躍と学院の発展を願って、和やかな中、終わりました。

連鎖校会に出席して

氷見教室 三崎 紀恵

姿 慶子

雪の降りしきる中、氷見より車を走らせ、初めてのこの会に出席しました。山原きもの着付学院のよりよい運営と各自の技術向上を図るためには、如何にすべきか真剣な話し合いがなされました。その討論を開き私達は場違いな所に来てしまったかなという思いにかられました。と同時に、氷見教室においても各教室の勉強会の方法を参考にさせていただきながら山原きもの着付学院の名に恥じぬよう、日々努力していかなければと改めて感じました。

その後の懇親会では、ガラリと雰囲気が変わり本心、これを楽しみにしていた私達にとって、皆さんの歌や踊りはとても素晴らしいものでした。



着付けを通して皆さんとご縁を頂けたことを嬉しく思いました。一人ひとりが研鑽していくことで、山原きもの着付学院がますます発展されますことを願って帰りました。

フォーラムまつり



「フォーラム七尾祭」に参加して

七尾講師会 岩城 孝子

きものと帯の組み合わせは、帯の結び方によって色々な表情を見せて楽しませてくれます。私は大島紬に銀座結びをしてみました。赤い鼻緒の下駄を履いて格子戸の入った路地を歩く小粋な人なを思い描きながらボディーに結んでみました。教室の方々の和気あいあいとした雰囲気の中で参加できたことを、とても嬉しく思っております。



講師会 合同研修会

「夏休みの集い」

七尾講師会 石井美千子

七尾講師会の集まりに参加させて頂き有り難うございました。山原先生や師範会の方々の食事に始まり、西永寺へ移動。ご住職様のわかりやすく楽しいお話を聞き、又、中国伝統藝術の矢田先生の、足の反射区の御指導を頂きました。皆様の和やかな雰囲気の中で、あつと云う間に時間が過ぎ去りました。又、坊守様の行き届いたおもてなしに、大変有り難く頭の下がる思いで、一杯でした。本堂も古く、珍しい四角柱で有るお寺とのことでした。有り難うございました。



身も心も涼しかったあの日

本校 上島佐洋子

「南無阿彌陀仏は七回唱え、その一回づつに意味があるのですよ。最初は、私は此処にいます。次はあなたの傍にいます。・・・」と、ご法事で不在の西永寺ご住職に代って、仏教の中で私達が何げなく接している事や、言葉を分かり易く説いてくださったのは、志賀町専念寺ご住職様。

八月二十五日、蝉時雨の中、着付けで古くからの仲間の長原さんを自坊の鳥居町の西永寺にお訪ねしました。久しぶりの再会です。「仏教は慈悲と寛容なのです。」とのお話しを、今一度お聞きしたいと念じつつ、暑い夏の日、身も心も涼しくしてくださった長原さん。ありがとうございます。

学院だより(二)

さくらまつり

さくら祭り

七尾講師会 春木 直樹

例年に無いくらい、桜の開花がとて早く、葉桜になつてはいましたが、色鮮やかな着物が十分花の代わりになつていたように思います。毎年遠くから眺めていただけの自分が一転して舞台の上に座りました。春の陽気も心地よく、思ったほどの緊張もせずに、着付けが出来ました。「男の人の着物姿もいいねえ」なんて声が耳に入り、ちよつとにんまり。(やっぱり着物を着たからには褒められないとなあ)と思いました。皆さんもそう思いませんか？

けどこれは着物を着た人で無いとわかりませんよね。一人でもその喜びを知ってもらいたいものです。そんな自己満足の中、無事終了、「さくらまつり」でした。



さくらまつり

七尾講師会 國田美栄子

今年はさくらの花も早く散り葉ざくらの下でのおまつりでしたが、天候に恵まれよい日となりました。私達山原着付学院の帯結びショーは見頃でした。

いろんな年代の花が彩とりどりいろいろな形に咲きほこり、すばらしくて桜の花に劣らずきれいに満開になる事が出来ました。

初めての男性ショーもお見事でした。日本の男性はやはり紋付羽織袴ですね。とてもステキでした。

リハーサルなしで、いきなり本番でしたが、みんなの気持ちが一つになり咲いた年代別の花はきれいでした。

いつまでも咲いてほしいですね。楽しい桜まつりでした。



港祭り総踊り

今年も、七尾の市民総踊り大会が盛大に催され、わが山原学院からは五十一名の夏の夜の彩りをしました。

【総踊り参加者】

◎本校

山原 昌雄 山原 綾乃
久木満津美 上島佐洋子
松井三恵子 勝木絵里子
竹口 悦子 国部 克美
春木 直樹 山口 智也
南 美以子

◎講師範会

田中ひとみ 藤田 寿代
山下 珠美 山下翔一郎
福田二美江 小林 美紀
山本由美子 清水美奈江
畑中 芳子 山道 峰子
國田美栄子 国部 圭恵
中原加奈子 松本 綾子
崎田 明美

◎三浦教室

三浦 一枝 棚田 啓子
宮島まり子
◎松井教室
松井 吉子
◎古田教室
龜野千香子 今井 公子
浦川 幸子 加賀奈津子
笹川以津美 小坂 幸代

◎森教室

平 和美 小浦 信子
白山 直子 高橋美恵子
川本美千子 森 千代子

◎田鶴浜教室

伊藤 弘子 中村 晴子
小原 浜二 西田久美子
日下 梢 畑 美智子
杉本 藤子 藤沢 久江
浜崎 節子

【着付ボランティア】

(パトリア)

上島佐洋子 福田二美江
小林 美紀 藤田 寿代
田中ひとみ
(労働会館)
織田しず子 白井三代子
小沢 和代 國田美栄子
上原 幸子

(七尾商工会議所)

久木満津美 山本由美子
棚田 啓子 山道 峰子
清水美奈江

来年も参加を

フォーラム教室 勝木絵里子

七月十九日、私はこの日初めて七尾市港祭りの一環である、市民総踊りに参加しました。参加することにしたものの踊りの振りを何一つ知らなかった私は、まず七尾市役所で開かれた踊りの練習会に参加しました。やってみるとこれが案外に楽しく、練習が終わるころには十九日の本番が楽しみになつていました。総踊りの当日は同じ着付教室のみんなや、ほかの三千人以上の参加者達と楽しく踊る事が出来ました。来年も是非参加したいイベントです。

【行事予定】

十月十日～十四日の五日間

「まなびピア石川二〇二二」が開催

・十月十日 体験教室

十時三十分、創作帯結び
十八時三十分、振袖のあつかい

・十二日～十三日

フォーラムまつりに参加

・十二日 サンライフ大ホールにて着付発表

・十四日 金沢産業展示館4号館にて

十三時三十分、着付ショー

・十月二十七日 池田家にて現代マナー勉強会

・十一月三日 文化協会文化祭に参加「池田家」

・平成十五年一月十九日 初春の集い「あえの風」

ボランティア

お疲れ様、ありがとうございました。

・十二月九日 池田家大掃除

山本由美子 小沢 和代 小崎真由美

・一月十三日 成人式着付け直し

山原 昌雄 中原加奈子 崎田 明美

・六月三十日 池田家お庭草むしり

山本由美子 國田美栄子 山道 峰子

岩城 孝子 清水美奈江 上原 幸子

・佐々木理恵

広告を協賛して頂きました各社には厚く御礼を申し上げます。

※表紙の写真「スハマソウ」

門前町猿山の早春は林床一面をおおう「スハマソウ」(別名雪割草)で色どられます。多分日本一の群生地でしょう。能登の大切な財産です。

(写真・文共に七尾市府中町在住の写真家・島木茂氏の作品を掲載させて頂いたいただきました。ありがとうございます。)

編集後記

今年は、日本中がサッカーで熱くなった年でしたが「翔」の編集にはじめて参加させて頂き、熱い勉強の連続でした。機関誌の出来上がるまでの工程がこれほど大変なものとは思いませんでしたが、とても貴重な経験をさせて頂きました。(松本)

朝晩もかなり涼しくなり、秋の気配も徐々に感じられるこの時期、私自身「よさこい祭り」に参加していました。そんな中での編集委員。先輩方のご苦労も知る事が出来、今回チャレンジさせて頂けたことに感謝いたします。(春木)

編集作業をしていく中で、普段から書物と接することの大切さを実感しました。自分の語彙の少なさとアイデアの乏しさを思い知らされました。ここ最近、書物から遠ざかっていたので大変良い刺激になりました。(柏原)

編集委員

柏原登代美・堀井 紀子・瀬口 良子
清水美奈江・春木 直樹・松本 綾子
柏原 良江

発行 全国きもの指導者協会誌

山原昌雄の着付学院

〒761-0001 七尾市藤町二二六

TEL 〇七六五 五二一六二五

FAX 〇七六五 五二一七五五

編集 翔 編集委員会

責任者 山原 昌雄

印刷 フタバ印刷株式会社

〒761-0001 七尾市藤町二二六番地

TEL 〇七六五 五二一三〇〇

—— ころの時代21世紀 ——

『やすらぎの和風感性を求めて…』

21世紀は、新しい創造とやすらぎの時代と言われています。知らず、知らずに、
私達は、「やすらぎの和風生活」を求めているのです。

春直呉服店

七尾市中央通り ☎ 0767-53-0423

FASHION&GOODS

夢華

取扱品

・高級呉服 ・ブティック バッグ 宝石
・贈答品 陶器 ・和小物グッズ

ヤングファッション ステラ

STELLA

イタリア発の
ジーンズブランド。
秋物トップス、
小物など入荷！

能登よさこい

夢遊人

YUMEYUJIN

第6回
2002年バージョン大賞

夢遊人OFFICE
ヤングファッション ステラ
STELLA内



デザイン／印刷／マルチメディア

フタバ印刷株式会社

七尾市飯川町き部35番地
TEL (0767) 57-3100 FAX (0767) 57-1547